

11月定例会 常任委員会の審査

総務市民委員会

【委員長】 山下いづみ 【副委員長】 望月 徹

(補正予算1件、条例3件、その他4件)

【委員】 稲葉寿利、高橋正典、一条義浩、植松光徳、藤田哲哉、福永意人

●物価高騰等により富士市総合体育館等整備・

運営事業の追加費用の発生は

問 事業者から資材等の急激な高騰や労務費の上昇による事業費不足の申入れがあり、事業者との協議の結果、インフレライドを適用し12億540万円を債務負担行為の限度額として追加することですが、令和7年度の供用開始までの間に物価高騰がさらに進んだ場合には、今回と同じような事業費の追加が発生するのですか。

答 今回の補正は令和6年4月30日までの期間を対象としており、それ以後の対応については、物価高騰の動向が現段階では見通しが立たないため、事業費の追加がないとは言いきれない状況です。

福祉保健委員会

【委員長】 佐野智昭 【副委員長】 長谷川祐司

(補正予算5件、条例2件、その他2件、陳情1件)

【委員】 小池智明、新家大輔、石川浩司、萩野基行、笠井 浩、市川真未

●公立保育園での3歳児以上への主食提供について

問 保育園等給食事業費492万円の増額は、公立保育園における3歳児以上への主食の提供開始に向け、必要となる炊飯器や配膳ワゴン等を購入するためとのこと。3歳児以上の保育料に主食代金が含まれていないことから、これまで児童が主食を持参していましたが、来年度から3歳児未満と同様に保育園で主食を提供することにしたのどのような理由からですか。

答 毎朝御飯を準備し持参することは家庭の負担が大きく、多くの保護者から、3歳児以上にも保育園での主食提供を求める要望を受けており、また、持参した主食を保育園で保管することに衛生面などを懸念する声がありました。このため、来年度から3歳児以上についても月額500円の保護者負担で主食を提供することとしました。



●富士市高校生議会は初回以降も継続するか

問 魅力創造発信事業費として、高校生議会準備費18万円を計上することです。令和6年度から実施を予定している富士市高校生議会は、各学校において富士市の魅力や課題について、市とともに考えてきたことを発表する場としている点に独自性があるとのことですが、初回以降、事業の継続性についてはどのように考えていますか。

答 事業を実施していくに当たり、毎年や3年に1度など、どのようなサイクルで実施していくべきかについては、実施後に効果を検証した上で判断していきたいと考えています。また、参加した生徒には、若者が参画している他事業への参加を促し、市への理解を深めてもらうよう努めていきます。

●富士保健医療圏の630問題解消に向けて

医師会や各医療機関と連携を

要望 救急医療推進事業費を480万円増額し、富士保健医療圏における630問題を解消するため、新たに平日昼間の一次救急医療事業や年末年始医療体制確保事業を実施し、そのうち平日昼間の一次救急医療事業は、来年1月から3月末までの間、630事案が最も多く発生している平日の午後0時から午後2時までの時間帯に、救急患者の受入れが可能な内科系及び外科系医療機関による一次救急医療の輪番体制を構築することです。現時点で18医療機関から協力の申出を得ているようですが、630問題は複数の要因が重なっている地域の重大な医療課題であることから、本事業により平日昼間の630事案がどの程度減ったかだけでなく、630事案が多く発生している朝方や夕方の発生状況や中央病院の負担がどの程度変化したのかも検証し、医師会をはじめ各関係機関と解消に向けて取り組んでください。

産業教育委員会

【委員長】 井出晴美 【副委員長】 吉川隆之

(補正予算1件、その他1件)

【委員】 川窪吉男、下田良秀、遠藤盛正、伊東美加、佐藤菊乃、小池義治

●ごみ排出量が年々減少している中で、埋立ごみや粗大ごみの増加が見込まれる理由は

問 収集管理費1700万円を増額し、埋立てごみ・可燃粗大ごみの増加に対応することです。ごみ排出量は年々減少している中で、埋立てごみや粗大ごみが増加するのはどのような背景からですか。

答 近年では金属を含む等の複合素材の製品が増加し、これまでどおり焼却すると焼却炉を痛める危険性があることから、今年10月より収集区分を一部見直し、スーツケースや衣装ケース等、これまで可燃ごみとして取り扱ってきた品目を埋立てごみに変更したため、増加すると考えています。また、終活や断捨離を行う方や大型ごみの戸別収集を利用する高齢者世帯が増えていることなども背景にあると思われます。

●富士川楽座をサイクルツーリズムなどの観光拠点に

要望 今年度中に富士川かりがね橋が開通する予定であり、周辺の道路環境や富士川楽座の位置づけが変わると思われる中、富士川楽座の次期指定管理者候補者からは、昨年度から始めたe-Bikeのレンタサイクルを活用して、岩本山周辺施設と連携したサイクルツーリズムを推進していきたいという提案があったようです。

新橋が開通すれば、富士川楽座から岩本山や、かりがね堤、瑞林寺などの観光名所へ手軽に行くことができるようになるので、富士川楽座がサイクルツーリズムを含めた観光拠点となるよう、事業者と一緒に取り組んでください。



建設消防委員会

【委員長】 太田康彦 【副委員長】 鈴木幸司

(補正予算6件、その他1件)

【委員】 望月 昇、萩田文仁、杉山 諭、関 明美、笹川朝子、小野泰正

●無料の木造住宅耐震診断事業へのオンラインによる申込みの積極的な受付は

問 無料の木造住宅耐震診断事業が来年度に終了することに伴う駆け込み需要やダイレクトメールの送付による申請数の増加を受け、わが家の専門家診断事業費を235万円増額することです。市内には診断の対象となる住宅が5000戸から6000戸ほど残っていると推計される中で、オンラインによる申込みを積極的に受け付けていく考えはありますか。

答 県のウェブサイトにおいて、ふじのくに電子サービスによる申込みを受け付けていますが、これまで本市への申込み実績はありません。申請方法の多様化により申請数の増加も期待できることから、ふじのくに電子サービスとの連携について検討を進めていきます。

●市道富士川由比線の復旧工事のスケジュールは

問 令和5年8月の台風による豪雨で、路肩が崩落した市道富士川由比線の復旧工事を実施するため、補助災害復旧事業費を3300万円増額し、その全額を次年度へ繰り越すとのこと。災害復旧工事は迅速な対応が求められる中で、国の災害査定をより早く受けることはできなかったのですか。また、今後のスケジュールはどのようになっていますか。

答 8月の豪雨では県内の複数か所が被災したことにより、国の査定スケジュールが立て込み、災害査定は11月となりましたが、その間も、さらなる護岸の洗堀を防ぐため、大型土のうの設置などの仮設工事を行いました。今後は、速やかに入札手続きを行い、来年1月中旬に業者と契約をし、6月には復旧工事を完了させる予定です。